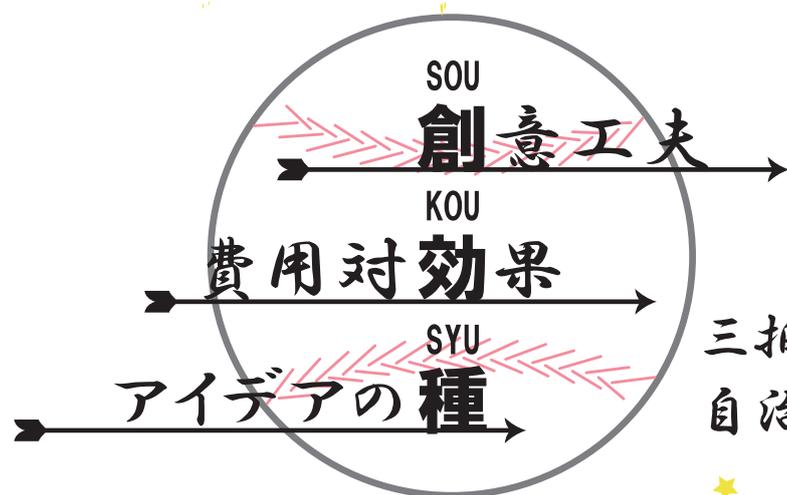


園子甲子園改革行



三拍子揃った
自治体行政改革の事例発表

2012年10月10日(水)
14:00~16:00

愛媛県男女共同参画センター
多目的ホール
(松山市山越町450番地)



主催：愛媛県

共催：松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、上島町、久万高原町、松前町、砥部町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町

協力：福岡県大野城市

後援：愛媛県市長会、愛媛県町村会

表紙の題字 **新華甲子園** は、「書道パフォーマンス甲子園」
で活躍されている、愛媛県立三島高等学校書道部の皆さんに書いて
いただいたものです。

御協力いただき感謝申し上げます。

【行革甲子園とは！？】

「行革甲子園」とは、県と市町が一緒になって取り組む、自治体行政改革の事例発表会です。

愛媛県では、県・市町ともに、来るべき分権時代を見据え、国に先んじて行財政基盤の強化を図るため、定員・組織の見直しや業務改善を進めるとともに、創意工夫を活かした住民参加のまちづくりを、積極的に進めてまいりました。

「行革甲子園」は、これまでの優れた取り組みを発表し、県と市町で共有するとともに、広く全国に発信することにより、知恵と工夫による更なる行政改革を進めるため開催するものです。

【えひめ行革大賞】

県下全20市町から、行政運営の効率化や、住民参加のまちづくりなど、64の創意工夫にあふれる取り組みの応募がありました。

本日は、このうち1次審査で選ばれた6事例について、プレゼンテーションしていただくこととなっています。

6事例の中から、今後、それぞれの自治体において更なる行革の取り組みを進めるにあたり、最も参考となると思う事例を「えひめ行革大賞」に決定します。



【行革甲子園の開催に寄せて】

地方分権の時代に自治体がさまざまな行政改革の努力を行うことは、自治体経営と呼ぶにふさわしいものとして、高く評価できることです。

今回、ご報告を頂く6つのプロジェクトは、いずれも優れたものばかりですが、選ばれた6事例以外にも、優れた事例はたくさんあります。

「行革甲子園」という取り組みの性格上、できるだけ多様な自治体の取り組みを紹介することで取組主体の動機付けとなると同時に、他の自治体に取組みを促すことが重要です。そこで、同一の自治体からはひとつに限定し、取組みの類型（産学連携の推進、SNSの活用、旧来組織の活性化、人材育成、協働のまちづくり、震災時の自助・共助的備え）から代表例が選ばれたかたちになっています。

6つの自治体には、それぞれの取組みを代表するものとして、印象に残るご報告を期待しています。

行革甲子園審査員 小西 砂千夫 氏
(関西学院大学大学院教授)

このたびの「行革甲子園」という名前の新たな取組みが、各自治体職員の今後のプレゼン能力の向上と、それぞれの取組みを共有することによる行政改革の推進に役立つことを、愛媛県民の一人として、願っております。

県下の20市町の担当者にとって「行革甲子園」の開催は、増税ならぬ、仕事の増加となったかもしれません。しかし、住民サービスを旨とする公務員にとって、プレゼン発表という機会は、限られた人的・時間的資源を超えたスキルアップにつながるものと思います。

今回、64の取組事例を見させていただきまして、それぞれ独自の工夫をしていると感心しました。行政は前例主義がばっこしておりますが、この壁を乗り越えて、地方の事情に応じつつ、独自の取組みが広がっていくことを祈念しております。

行革甲子園審査員 兼平 裕子 氏
(愛媛大学法文学部教授)

プログラム

【イベント】

13:00 ～13:45	事例発表：大野城市の行政改革
-----------------	----------------

【行革甲子園】

14:00	開会 主催者あいさつ
	スケジュール説明
15:00	(1) 愛南町/産学官のパートナーシップによる地域づくり
	(2) 八幡浜市/Facebookページ「八幡浜市みかん課」
	(3) 内子町/自治会制度による住民自治のまちづくり
	(4) 西予市/未来せいよ創造プランプロジェクトの実現
	(5) 四国中央市/協働のまちづくりの推進
	(6) 松山市/市民とつくる地域消防防災力
	(7) 先進事例：福岡県大野城市/大野城市の行政改革
	(8) 県事例：愛媛県/愛媛県の行政評価システム
15:00	各首長コメント
	えひめ行革大賞発表～表彰 講評
15:45	～閉会

行革甲子園審査員

有識者：小西砂千夫氏、兼平裕子氏

首長：県内20市町長、知事

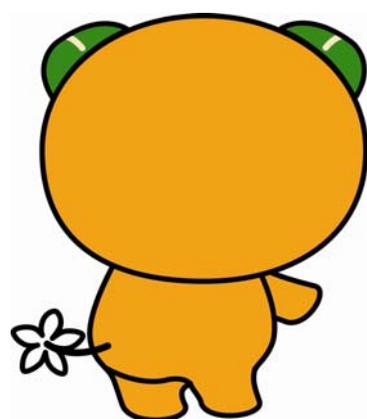
ゲスト：福岡県大野城市 [計24名]

「行革甲子園」の開催にあたり、「組織づくり」、「人づくり」、「地域づくり」、「体力づくり」の分野で取組み事例の募集をした結果、県内全市町から応募があった64事例の一覧は下記の表のとおりです。

(参考)

- ◇組織づくり: 行政の簡素化や効率化に焦点を当てた取組み
- ◇人づくり: 人材育成、政策立案能力の強化等の取組み
- ◇地域づくり: NPOや民間との協働、地域資源等の活用の取組み
- ◇体力づくり: 歳入増加につながる取組み

連番	分野・分類	取組事例名	市町名	
1	組織づくり	集中改革プランにおける定員管理の適正化	松山市	
2		権限・組織・マネジメント等の見直し	スクラップ&ビルド+アルファの行政快革	四国中央市
3			効率的な行政組織の見直し	砥部町
4			ノー残業デーの徹底及び残業時の照明スタンドの貸出し	久万高原町
5			マネジメントサイクルの定着化(行政評価制度の見直し)	伊予市
6			外郭団体の見直し	松山市
7			行政運営効率化	公営企業会計の導入による経営状況の透明化
8		新地方公会計制度における財務諸表の整備と活用		砥部町
9		公共施設の整備等へのPFI手法の導入		大洲市
10		補助金適正化	補助金公募制度の導入	新居浜市
11			補助金等の適正化	宇和島市
12		窓口サービスの向上	青少年の健全育成に係る組織体制の見直し	松山市
13			市民目線に立った窓口サービスの拡充	松山市
14			総合窓口の開設	宇和島市
15			松山市パスポートセンターの開設	松山市
16			コールセンターの開設	松山市
17	人づくり	3Cプロジェクト(職員提案制度)の常態化	松山市	
18		職員ひとり1改革運動の実施	今治市	
19		職員資質の向上	派遣型救急ワークステーション	松山市
20			政策立案・業務改善研修の実施	久万高原町
21			国・県等への派遣による人材育成	西条市
22			人事評価制度の確立と適正な運用	伊予市
23		未来せいよ創造プランプロジェクトの実現	西予市	
24		地域人材の育成	市民とつくる地域消防防災力	松山市
25	こども環境学園		松前町	
26	産学官連携	官学連携推進に関する協定に基づく各種連携	上島町	
27		町民総参加による防災対策の検討～産学官民の防災対策プロジェクト～	松前町	
28		民間企業との地域協働協定に基づく地域振興事業	宇和島市	
29		「離島の再生」廃校校舎をアワビ・ナマコの水産研究施設に転用	八幡浜市	
30		産学官のパートナーシップによる地域づくり	愛南町	
31	地域づくり	地域づくりの視点を持ったイベント事業への取組	今治市	
32		地域におけるまちづくりの推進	松山市	
33		新たな公共を目指した住民自治の基盤づくり	今治市	
34		がんばるひと応援事業	大洲市	
35		参画と協働の郷(くに)づくり～住民自治の推進～	伊予市	
36		協働のまちづくりの推進	四国中央市	
37		ふるさと事業費補助金	上島町	
38		住民との協働による地域づくり	松野町	
39		自治会制度による住民自治のまちづくり	内子町	
40		まちづくり協働オフィス事業	新居浜市	
41		地域主導型公民館への移行	新居浜市	
42		まちづくり検証委員会の設置	久万高原町	
43		段畑を活用したNPO法人による地域づくり	宇和島市	
44		環のまちづくりプロジェクト～ロハスタウンを目指して～	東温市	
45		松山島博覧会の開催	松山市	
46		男女共同参画推進としての出会いイベント	今治市	
47		住民参画によるまちづくりの推進	鬼北町	
48		タウンミーティング	松山市	
49		facebookページ「八幡浜市みかん課」	八幡浜市	
50	住民の交通手段確保	公共交通空白地域におけるNPO法人による過疎地有償運送事業	八幡浜市	
51		公共交通空白地帯解消に向けたデマンドバス運行	内子町	
52		町営バスの運行見直し	伊方町	
53	地域活性化	新市街地形成ゾーンの計画的整備	松前町	
54	財政運営	補償金免除線上償還の実施	松山市	
55		基金の有効活用	松山市	
56	体力づくり	税外債権管理に関する取り組み	八幡浜市	
57		税や福祉部門等による組織横断的な徴収支援体制の構築	松山市	
58		債権管理対策室の設置による債権回収の充実強化	新居浜市	
59		未利用地等の売却	松山市	
60		松山市広告事業	松山市	
61	経費縮減	情報システム最適化事業	松山市	
62		焼却施設の統合による運営の効率化	松山市	
63		下水処理場の維持管理コスト縮減策	松山市	
64		アセットマネジメントの導入による適正な公共施設の管理	新居浜市	



行革甲子園

